

付録5：南相馬市ハートランドはらまちにおけるエリア毎の除染方法

I エリア毎の除染手法

1. 建屋類

1.1 屋根に係る清浄作業

ロッジ群，馬小屋，農業体験実習館，弁室及び給水塔の屋根は，作業員が手作業(高所作業を含む。)により屋根の苔，泥等を除去しつつ，デッキブラシ，タワシ，キムタオル等を用いて洗浄，拭き取りを行う。必要に応じて，洗剤による洗浄，拭き取り等も行う。特に屋根の重ねあわせ部における苔，堆積物，金属が腐食している部分の除去に留意する。なお，洗浄，拭き取りに使用するキムタオル等は折りたたんだ各面の使用や，汚染レベルの高い場所で再使用により廃棄物発生の低減化に努める。

1.2 雨樋等に係る除去作業及び清浄作業

- (1) ロッジ群，農業体験実習館及び給水塔の軒樋，集水器は，作業員が手作業(高所作業を含む。)により枯葉，苔，草，泥，土等を除去する。
- (2) 呼び樋，豎樋，排水管の内面は，作業員がパイプクリーナー，キムタオル等を用いた手作業(高所作業を含む。)により洗浄，拭き取りを行う。必要に応じて，洗剤による洗浄等も行う。なお，洗浄，拭き取りに使用するキムタオル等は折りたたんだ各面の使用や，汚染レベルの高い場所で再使用により廃棄物発生の低減化に努める。

1.3 建物の庭等(土壌，砂利敷部等)に係る除去作業及び土木作業

- (1) ロッジ群内及び給水塔の周囲の庭等は，作業員が手作業により枯葉，苔，泥等を除去する。
- (2) 作業員が手作業等により除草を行い，回収する。
- (3) 建物の庭の表層土等については，作業員が手作業等により概ね5cmの深さまで除去する。線量率が部分的に高い土壌(以下，「ホットスポット」と言う。)の表層土等については，作業員が手作業等により，5～15cmの深さまで除去する。
- (4) 表層土等を除去した部分は，適宜わら等の有機物，客土等を施工し，圧密，植生等の措置を施す。その際，施工後の土砂等の流出及び斜面の崩落の防止に留意する。

1.4 建物の庭等の植栽の造園作業

ロッジ群周囲の植栽，給水塔周囲の植栽は，作業員が手作業(高所作業を含む。)により剪定し，切り枝を回収する。

2. 駐車場等

2.1 駐車場等に係る除去作業及び清浄作業

- (1) 駐車場，乗馬体験場は，作業員が手作業により枯葉，泥等を除去する。
- (2) 除草を作業員が手作業等により行い，回収する。
- (3) 乗馬体験場の柵は，作業員が，キムタオル等を用いた手作業により洗浄，拭き取りを行う。なお，洗浄，拭き取りに使用するキムタオル等は折りたたんだ各面の使用や，汚染レベルの高い場所で再使用により廃棄物発生の低減化に努める。

2.2 駐車場等に係る土木作業

- (1) 駐車場，乗馬体験場については，作業員が手作業等により表層土を約5cmの深さまで除去す

る。

- (2) 砂利、表層土を除去した部分は、客土の施工・圧密等を施す。その際、施工後の土砂等の流出及び斜面の崩落の防止に留意する。

3. 傾斜地等

傾斜地等の除去作業、土木作業及び造園作業

- (1) 傾斜地(駐車場東側の植栽部を含む)においては、作業員が手作業等にて領域内の落ち葉かき、除草を行う。また、領域内に植生する低木、笹等について除去する。
- (2) 作業員が手作業等にて部分的に傾斜地の腐葉土等の表層土を約5cmの深さまで除去する。腐葉土の除去に当たっては、木々の細根が露出しないように留意する。
- (3) 同領域内で、作業員がナタ等を使用した手作業にて高木を4mまでの高さ(高所作業を含む)までの枝打ちをし、切り枝を回収する。また、必要に応じて枝打ち機を用いる。
- (4) 表層土等を除去した部分は、適宜わら等の有機物、客土等を施工し、圧密、植生等の措置を施す。その際、施工後の土砂等の流出及び斜面の崩落の防止に留意する。

4. 森林

森林の除去作業、土木作業及び造園作業

- (1) ロッジ群西側の森林内においては、森林境界付近から概ね奥行10mまでの領域内で、作業員が手作業等にて森林内の落ち葉かき、除草を行う。また、領域内に植生する低木、笹等について除去する。
- (2) 作業員が手作業等にて部分的に森林内腐葉土等の表層土を約3cmの深さまで除去する。腐葉土の除去に当たっては、木々の細根が露出しないように留意する。
- (3) 同領域内で、作業員がナタ等を使用した手作業にて高木を4mまでの高さ(高所作業を含む)までの枝打ちをし、切り枝を回収する。また、必要に応じて枝打ち機を用いる。
- (4) 上記(1)～(3)の作業を、森林入り口から奥行10m領域毎に3回繰り返す。
- (5) 表層土等を除去した部分は、適宜わら等の有機物、客土等を施工し、圧密、植生等の措置を施す。その際、施工後の土砂等の流出及び斜面の崩落の防止に留意する。

5. 道路等

5.1 道路等に係る除去作業

- (1) 管理用道路、管理用階段、歩道、浄化槽蓋部及び弁室・給水塔の犬走りは、作業員が手作業により苔、草、泥、土等を除去する。
- (2) 管理用道路、管理用階段、歩道、浄化槽蓋部及び弁室・給水塔の犬走りは、ブラスト作業(高圧空気をを用いて鉄球等の研磨剤を対象エリアの表面に吹きつけて除染する作業)を行う。
- (3) 管理用道路については、指定するエリア(合計長さが約20m)において、除染時の走行速度と除染効果の相関を調べることとし、区分毎に異なった走行速度で吹きつけ除染を行う。
- (4) 舗装面の凹凸、舗装の剥離状況により、上記(2)の作業の実施が困難な場合は、グラインダー等による研磨、洗剤による洗浄等の作業を実施する。
- (5) 作業に当たっては、ブラスト作業に使用する鉄球等が除染対象区域外に出て行かないように措置を施すとともに、使用後の鉄球等を、付着した放射性物質を周辺にまき散らさない方法で回収する。

5.2 道路脇側溝、排水路に係る除去作業及び清浄作業

側溝、排水路は、作業員が手作業により枯葉、苔、草、泥、土等を除去した後、デッキブラシ、タワシ等を用いて洗浄する。また、部分的にグラインダー等による研磨、洗剤による洗浄等を行う。

5.3 管理用道路に係る土木作業

管理用道路のうち、亀裂部 10 箇所(道路幅 5m×施工長さ 1m/箇所)の舗装を重機により除去した後、新たな舗装を施す。

II 除去物の収納

エリア毎の除染により発生する落葉、草、土、切り枝等の除去物は、可燃性及び不燃性に分別し、以下に示す仕様の JIS Z1651_2008 非危険物用フレキシブルコンテナに準拠した耐候性(3年)容器に収納する。

耐 候 性 大 型 土 の う	主要材質		ポリエステル ポリプロピレン	
	型式		丸型・2点(4点支持)ベルト吊り	
	主要寸法		φ1,100mm×H1,100mm	
	容 量		約 1.0m ³	
	最大充填質量		20kN/m ³ 以上	
	耐 候 性 能	袋材	たて	240 N/cm 以上
			よこ	240 N/cm 以上
			縫製	240 N/cm 以上
	吊りベルト		30KN 以上	
透水係数		1.0×10 ⁻² cm/sec 以上		